

木曾駒ヶ岳

(千畳敷カール)

きそこまがだけ

標高
2,956m

標準総歩行時間 ルートにより異なります

木曾山脈の最高峰の山

木曾駒ヶ岳は長野県の中央アルプスである木曾山脈の最高峰の標高2,956mの山です。南アルプスの甲斐駒ヶ岳の西側にある為、西駒ヶ岳とも呼ばれますが、登山愛好家からは木曾駒の愛称でよく呼ばれています。標高は3,000m弱の高山ですが、登山口までは麓からシャトルバスとロープウェイを乗り継ぐので、初心者でも日帰り登山が楽しめます。

千畳敷カール

「カール」とは氷河期の氷の浸食によりスプーンですくい取ったような地形のことです。「千畳敷」とは畳が千畳敷けるほど広大である様子を指します。宝剣岳の直下に広がる千畳敷カールは、高山植物の宝庫であり、ロープウェイ駅を降りると圧巻の景色が目飛び込んできます。千畳敷カールにはよく整備された遊歩道があり、散策は周回約40分ほどです。ロープウェイは通年営業しており、四季折々の絶景が楽しめ、特にお花畑の最盛期の初夏や紅葉シーズンは大変混みあいます。



▲信州駒ヶ岳神社



登山①コース
登山②コース

標準歩行時間・アクセス

※標準歩行時間はあくまで目安です。

🚶 ルート ※ルートによっては時間制限(上り専用等)があります。

【木曾駒ヶ岳山頂まで往復約4時間コース】

千畳敷駅 → 八丁坂 → 乗越浄土 → 八丁坂 → 千畳敷駅

【濃ヶ池をめぐる往復約5時間半～コース】

千畳敷駅 → 乗越浄土 → 中岳 → 木曾駒ヶ岳山頂 → 濃ヶ池分岐

濃ヶ池 → 駒飼ノ池 → 乗越浄土 → 千畳敷駅

🚗 アクセス

自家用車: 駒ヶ根IC-菅の台バスセンター(駐車場) → しらび平駅(ロープウェイ) → 千畳敷駅(ロープウェイ頂上)

駐車場: 菅の台バスセンター駐車場

有料: 普通自動車800円 収容台数: 300台

※混雑時は別の駐車場に案内マイカー規制区域の為、千畳敷へ上る方はここに駐車します。

電車: 駒ヶ根駅(JR飯田線) → しらび平駅(ロープウェイ) → 千畳敷駅(ロープウェイ頂上)

★見どころ

●木曾・伊那駒ヶ岳神社

1532年(天文元年)、上松町の神官の徳原長大夫春安が頂上に駒ヶ岳神社(保食大神)を建造。江戸時代には、木曾側の上松町から信仰目的で盛んに登られていました。現在も登山道にはその建造物が多く残り、頂上には木曾側と伊那側それぞれの駒ヶ岳神社があります。木曾側にあるものは木曾駒ヶ岳神社、伊那側にあるものは伊那駒ヶ岳神社と呼ばれています。



●高山植物

7~8月中旬は高山植物が咲き誇ります。代表的な高山植物のシナノキンバイ、ミヤマキンバイやコバイケイソウが群生します。カールには遊歩道が整備され、老若男女が楽しめる観光地となっています。遊歩道は、一部石の階段があるものの、ほとんどがなだらかな道です。しかし真夏でも僅かに雪が残っている場合があります。滑りにくく、防水性を備えた履物がベストです。服装は、麓よりも一枚多く羽織れるものを用意しておきましょう。



おすすめの素敵な山・絶景を厳選。
詳しくはこちら

